

道内の感染状況等について (案)

【令和4年1月21日】

主な指標の状況

		移行指標				その他指標		
1/20	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	10万人当たり 療養者数	新規 感染者数 今週 先週比	感染経路 不明割合	PCR 陽性率
全道	1	17.9% (370床) ↑	0.0% (0床) →	111.0人/週 (5802人/週) ↑	120.2人 (6286人) ↑	5.32 ↑	56.5% ↑	15.2% ↑
札幌市	1	15.1% (94床) ↑	0.0% (0床) →	153.0人/週 (3002人/週) ↑	159.8人 (3135人) ↑	6.31 ↑	65.7% ↑	17.8% ↑
札幌市を 除く地域	1	19.1% (276床) ↑	0.0% (0床) →	85.7人/週 (2800人/週) ↑	96.4人 (3151人) ↑	4.55 ↑	46.8% ↑	13.2% ↑
レベル1 移行指標		—	—	散発的に発生	—			
レベル2 移行指標		20%	20%	15人/週	20人			

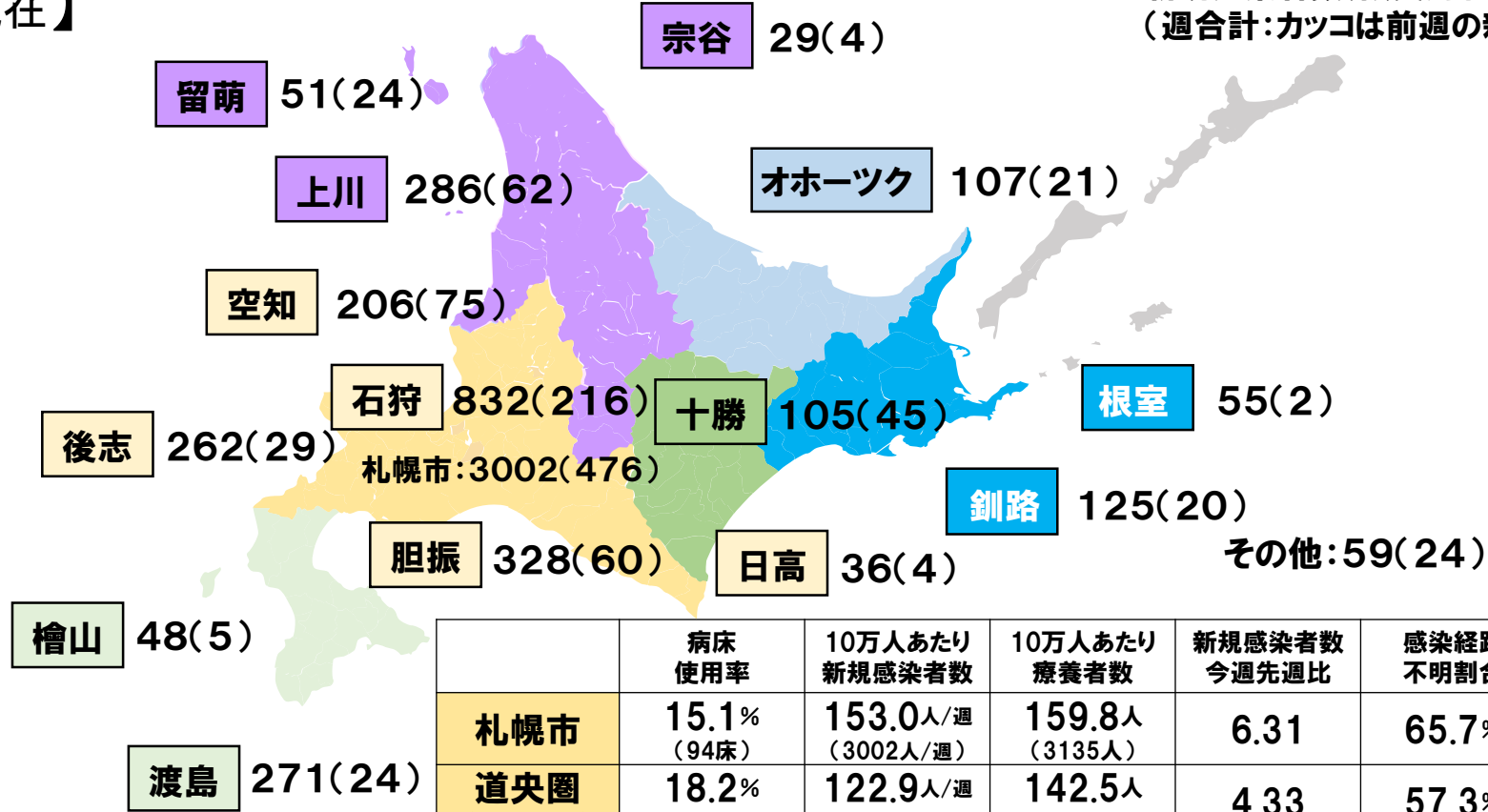
※()は実数。 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

※年代別新規感染者数等の指標についても、別途モニタリングを実施するとともに、将来の病床数を予測するツールについては、今後、感染拡大局面における活用を検討。

地域における主な指標の状況

【1/20現在】

新規感染者数(振興局別)
(週合計:カッコは前週の新規感染者数)



	病床 使用率	10万人あたり 新規感染者数	10万人あたり 療養者数	新規感染者数 今週先週比	感染経路 不明割合	PCR 陽性率
札幌市	15.1% (94床)	153.0人/週 (3002人/週)	159.8人 (3135人)	6.31	65.7%	17.8%
道央圏 (札幌市除く)	18.2% (83床)	122.9人/週 (1664人/週)	142.5人 (1928人)	4.33	57.3%	17.2%
道北圏	22.4% (68床)	62.0人/週 (366人/週)	75.7人 (447人)	4.07	30.9%	7.0%
道南圏	18.3% (38床)	76.3人/週 (319人/週)	83.7人 (350人)	11.00	31.0%	15.7%
十勝圏	16.7% (25床)	31.4人/週 (105人/週)	34.7人 (116人)	2.33	38.1%	8.6%
オホーツク圏	21.4% (25床)	39.1人/週 (107人/週)	43.1人 (118人)	5.10	29.0%	5.4%
釧路・ 根室圏	17.8% (37床)	60.6人/週 (180人/週)	64.6人 (192人)	8.18	28.9%	30.3%

※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。

総評 ①

【医療提供体制】

- 全道の療養者数は10万人あたり120.2人、病床使用率は17.9%と増加が続いている。若年者の感染者が多いという年代別の割合や、軽症・無症状の方が大多数を占めるという状況に変化はないが、新規感染者数が急速に増加する中、60代以上の感染者や症状のある方の実人数が大きく増加しており、今後も入院患者の増加傾向が継続すると見られる。こうした状況やこれまでの増加数を踏まえると、数日以内に20%を超えると見込まれる。

【感染状況】

- 道内でもオミクロン株への置き換わりが進む中、全道の新規感染者数は1月19日に1日あたり1,000人を超え、1月20日には1,437人となり過去最多を更新するなど、急速に増加している。
- 各地において、成人式前後など、飲食の場面における感染事例が多く確認されている。若年層の感染者数の増加が続いているほか、60代以上の感染者数も増加している。
- 国の基本的対処方針においては、オミクロン株は、感染拡大のスピードが極めて速いとされており、まずは軽症者の数が急激に増加し、その後、高齢者に感染し、入院患者数も増えることにより、医療全体がひっ迫し、更に社会機能の維持も困難になってくるといふ懸念が示されている。

総評 ②

【今後の対策】

- 道では、レベル2の3つの指標のすべてが基準を超えた場合にレベルを移行し、さらに、一定期間感染の拡大が継続する場合にまん延防止等重点措置の国への要請を検討することとしていた。現在、レベル2の指標である病床使用率は20%を超えていないが、数日以内に超える見込みとなったこと、また、オミクロン株の特性や、全道各地で急速に感染が広がっている状況などを踏まえ、このまま新規感染者数の急速な増加が続いた場合には、医療のひっ迫が進むおそれなどがあることから、レベル2へ移行するとともに、全道を対象としたまん延防止等重点措置の実施を国へ要請する。
- 「混雑している場所等への外出・移動」や「不要不急の都道府県間の移動」を控えることや、飲食の場面では「4人以内など少人数、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスク着用」といった感染リスクを避ける行動について、重点措置の適用を待たずに協力をお願いするなど、改めて、感染防止行動の徹底を図る。
- 新規感染者数が急速に増加する中、オミクロン株の特性を踏まえるととともに、治療が必要な方を確実に医療機関につなげていくため、必要な行政検査はもとより、陽性者の療養先を迅速に決定するほか、重症化リスクのある方への経口治療薬等の投与による重症化予防の徹底、疫学調査の重点化などの取組を進める。
- 訪問診療等の協力医療機関の増加を図るなど、自宅療養者の方への支援体制を強化するとともに、経口治療薬等を取り扱う薬局等の更なる拡大を図るほか、抗原検査キットの流通状況を踏まえつつ、感染に不安のある無症状の方を対象とした無料検査登録事業所の拡充を進める。
- 国の動向も踏まえ、高齢者接種のペースアップを含めたワクチンの3回目接種等の円滑な実施に向け、市町村等への支援に取り組む。

入院患者数と病床使用率（全道）

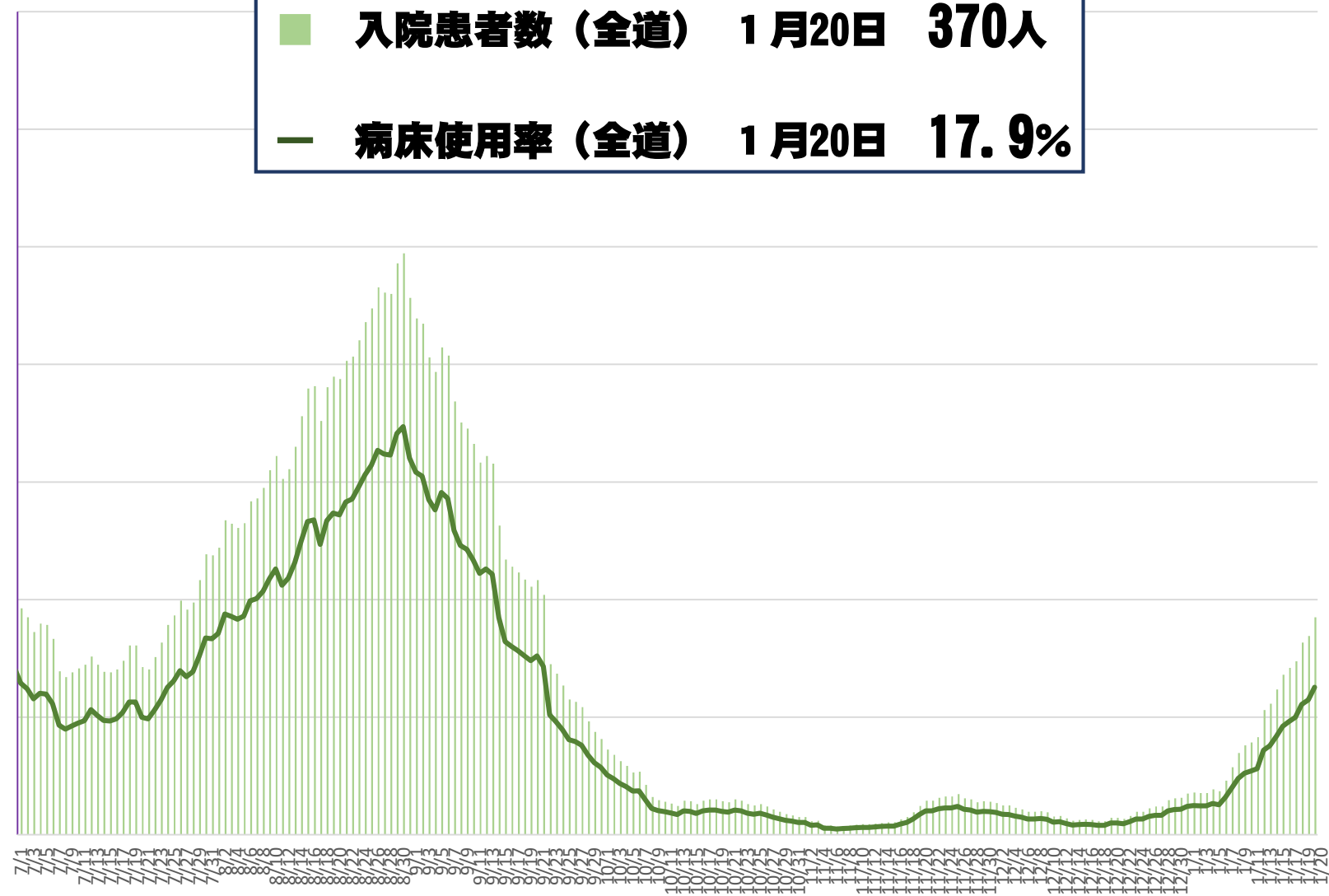
入院患者数（人）

病床使用率

1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0

100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%

■ 入院患者数（全道） 1月20日 370人
— 病床使用率（全道） 1月20日 17.9%



入院患者数と病床使用率（札幌市）

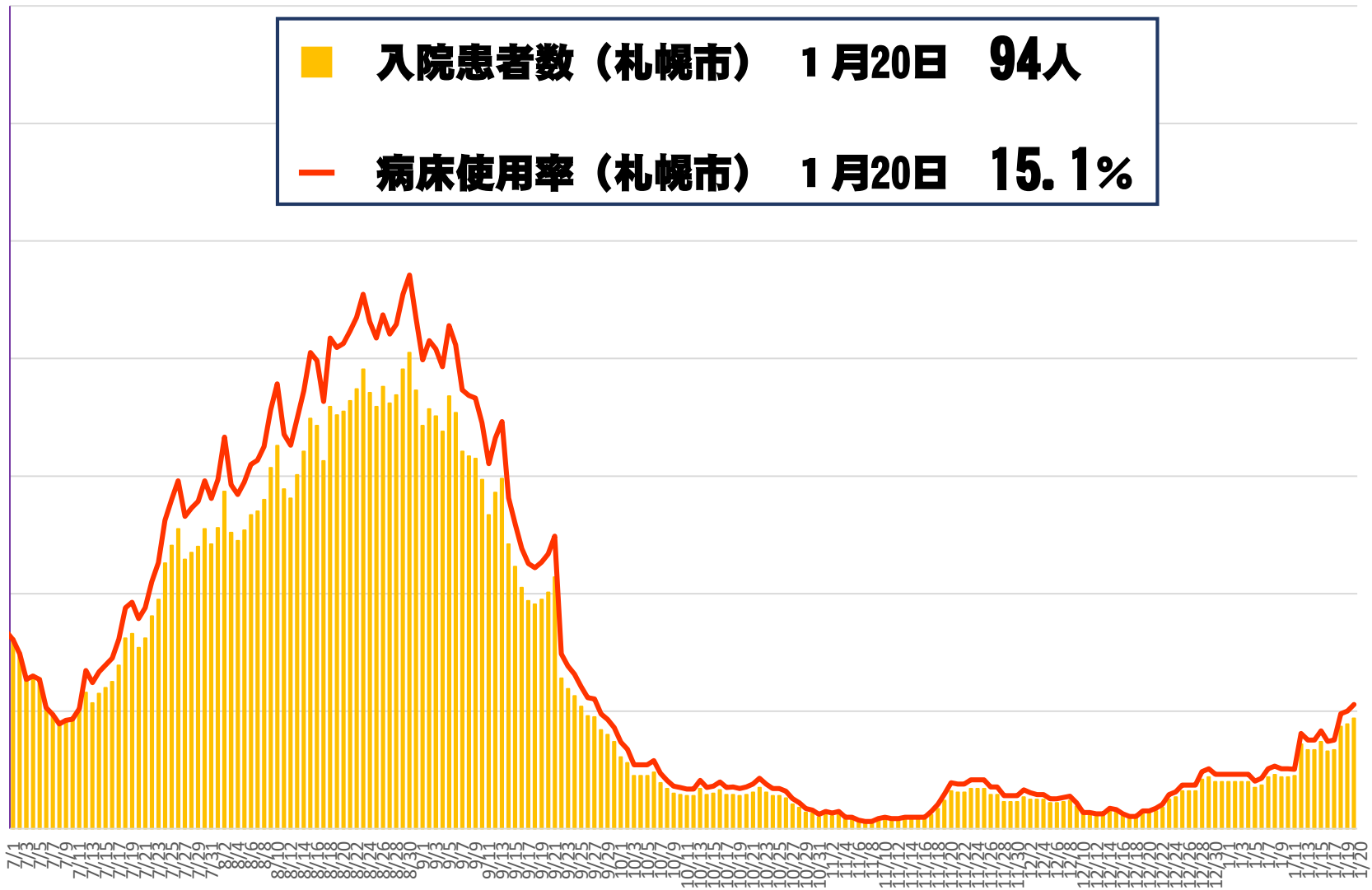
入院患者数（人）

病床使用率

700
600
500
400
300
200
100
0

100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%

■ 入院患者数（札幌市） 1月20日 94人
— 病床使用率（札幌市） 1月20日 15.1%



入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）

入院患者数（人）

700

600

500

400

300

200

100

0

■ 入院患者数（札幌市を除く地域）	1月20日	276人
— 病床使用率（札幌市を除く地域）	1月20日	19.1%

病床使用率

100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

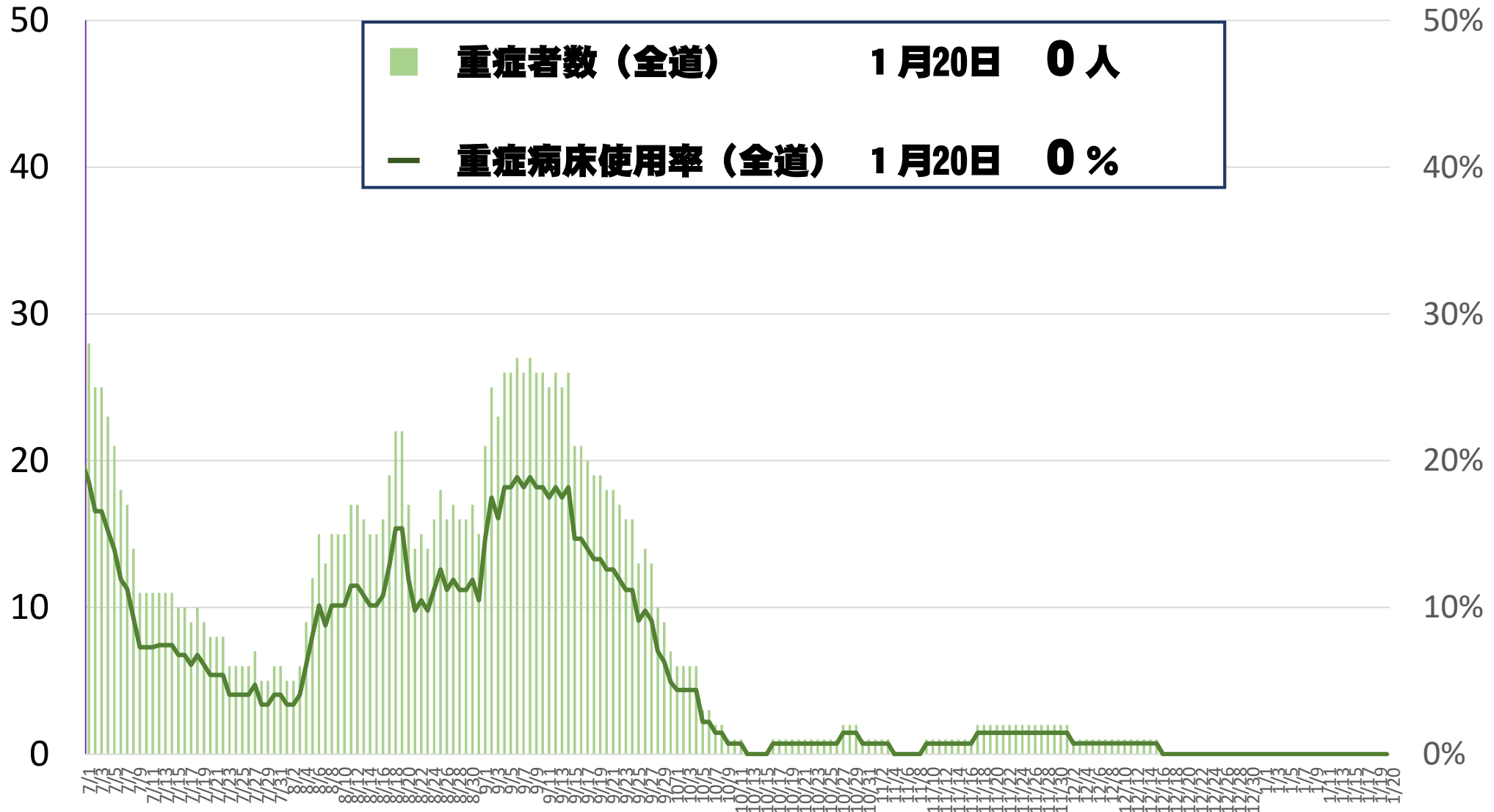
0%

1/1 1/2 1/3 1/4 1/5 1/6 1/7 1/8 1/9 1/10 1/11 1/12 1/13 1/14 1/15 1/16 1/17 1/18 1/19 1/20 1/21 1/22 1/23 1/24 1/25 1/26 1/27 1/28 1/29 1/30 1/31 2/1 2/2 2/3 2/4 2/5 2/6 2/7 2/8 2/9 2/10 2/11 2/12 2/13 2/14 2/15 2/16 2/17 2/18 2/19 2/20 2/21 2/22 2/23 2/24 2/25 2/26 2/27 2/28 2/29 2/30 3/1 3/2 3/3 3/4 3/5 3/6 3/7 3/8 3/9 3/10 3/11 3/12 3/13 3/14 3/15 3/16 3/17 3/18 3/19 3/20 3/21 3/22 3/23 3/24 3/25 3/26 3/27 3/28 3/29 3/30 3/31 4/1 4/2 4/3 4/4 4/5 4/6 4/7 4/8 4/9 4/10 4/11 4/12 4/13 4/14 4/15 4/16 4/17 4/18 4/19 4/20 4/21 4/22 4/23 4/24 4/25 4/26 4/27 4/28 4/29 4/30 5/1 5/2 5/3 5/4 5/5 5/6 5/7 5/8 5/9 5/10 5/11 5/12 5/13 5/14 5/15 5/16 5/17 5/18 5/19 5/20 5/21 5/22 5/23 5/24 5/25 5/26 5/27 5/28 5/29 5/30 5/31 6/1 6/2 6/3 6/4 6/5 6/6 6/7 6/8 6/9 6/10 6/11 6/12 6/13 6/14 6/15 6/16 6/17 6/18 6/19 6/20 6/21 6/22 6/23 6/24 6/25 6/26 6/27 6/28 6/29 6/30 7/1 7/2 7/3 7/4 7/5 7/6 7/7 7/8 7/9 7/10 7/11 7/12 7/13 7/14 7/15 7/16 7/17 7/18 7/19 7/20 7/21 7/22 7/23 7/24 7/25 7/26 7/27 7/28 7/29 7/30 7/31 8/1 8/2 8/3 8/4 8/5 8/6 8/7 8/8 8/9 8/10 8/11 8/12 8/13 8/14 8/15 8/16 8/17 8/18 8/19 8/20 8/21 8/22 8/23 8/24 8/25 8/26 8/27 8/28 8/29 8/30 8/31 9/1 9/2 9/3 9/4 9/5 9/6 9/7 9/8 9/9 9/10 9/11 9/12 9/13 9/14 9/15 9/16 9/17 9/18 9/19 9/20 9/21 9/22 9/23 9/24 9/25 9/26 9/27 9/28 9/29 9/30 10/1 10/2 10/3 10/4 10/5 10/6 10/7 10/8 10/9 10/10 10/11 10/12 10/13 10/14 10/15 10/16 10/17 10/18 10/19 10/20 10/21 10/22 10/23 10/24 10/25 10/26 10/27 10/28 10/29 10/30 10/31 11/1 11/2 11/3 11/4 11/5 11/6 11/7 11/8 11/9 11/10 11/11 11/12 11/13 11/14 11/15 11/16 11/17 11/18 11/19 11/20 11/21 11/22 11/23 11/24 11/25 11/26 11/27 11/28 11/29 11/30 11/31 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16 12/17 12/18 12/19 12/20 12/21 12/22 12/23 12/24 12/25 12/26 12/27 12/28 12/29 12/30 12/31

重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

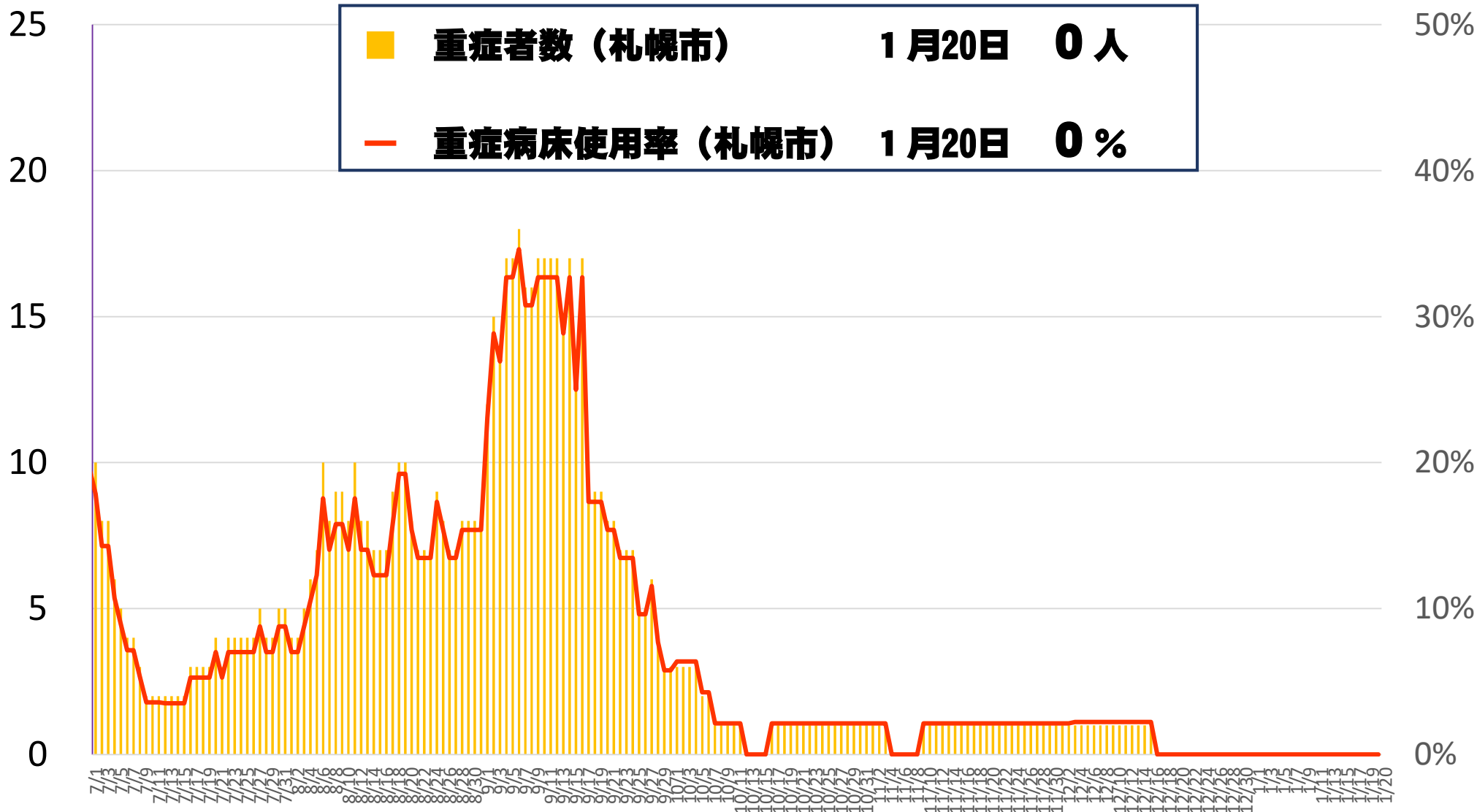
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

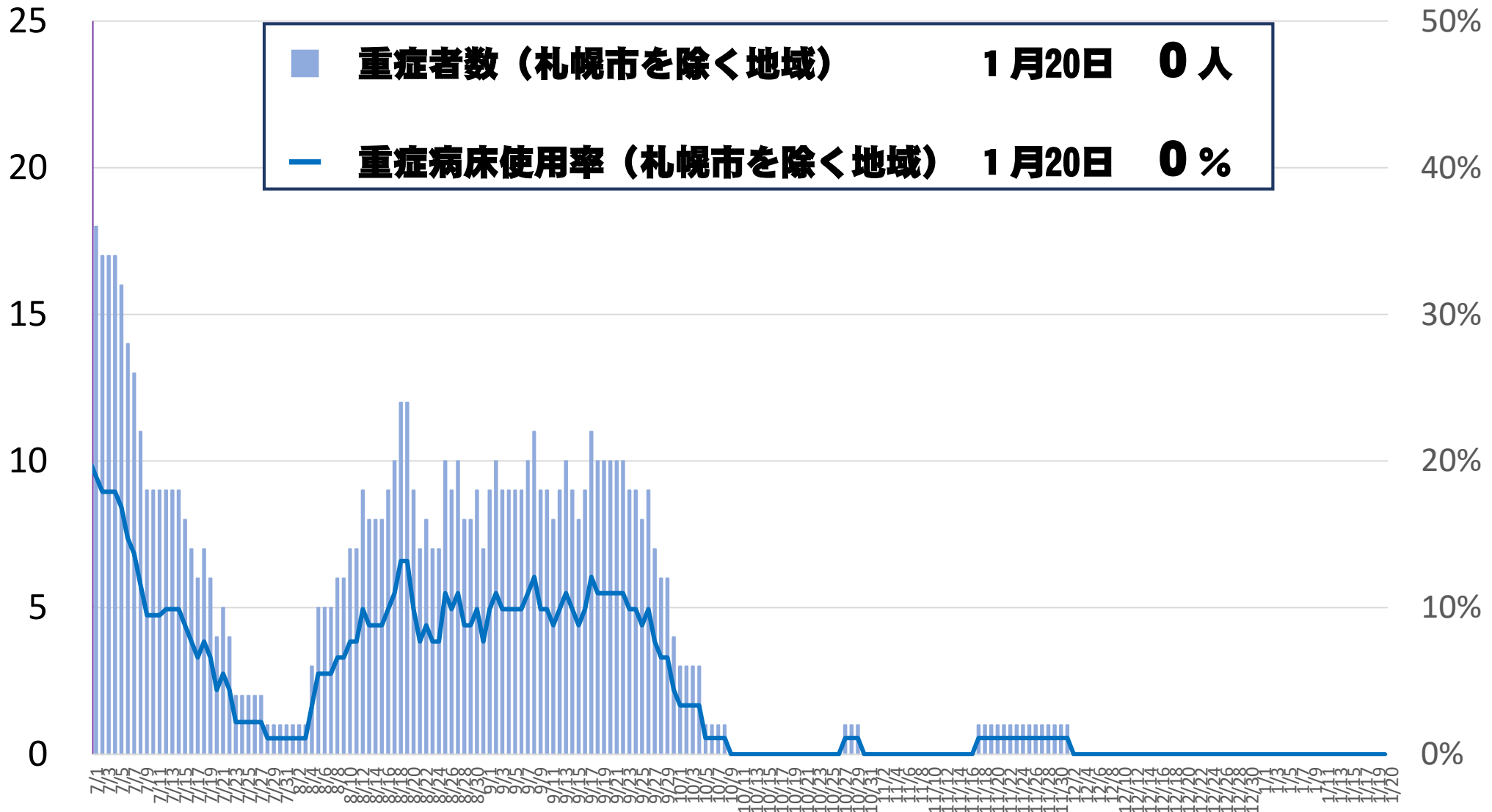
病床使用率



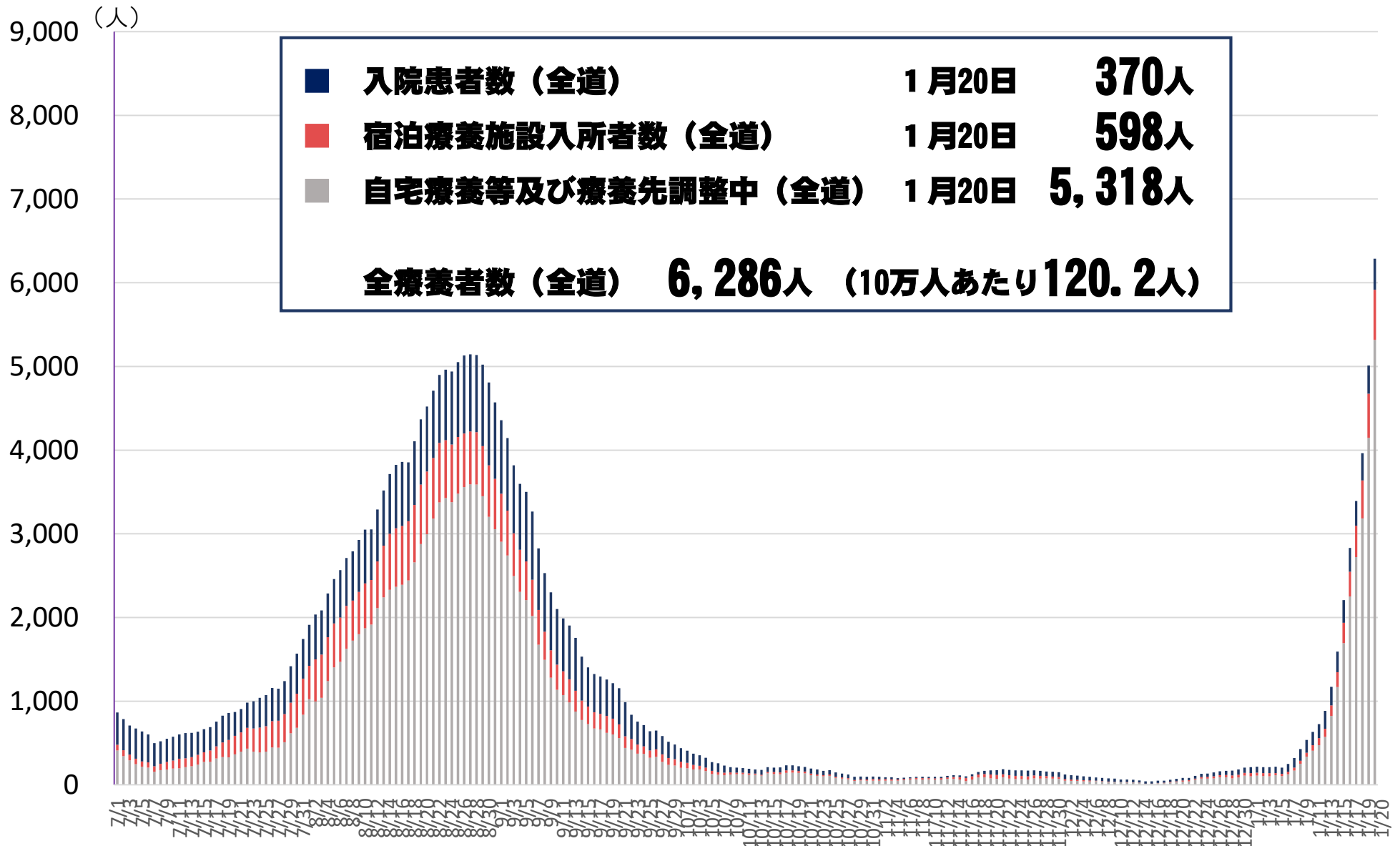
重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

重症者数（人）

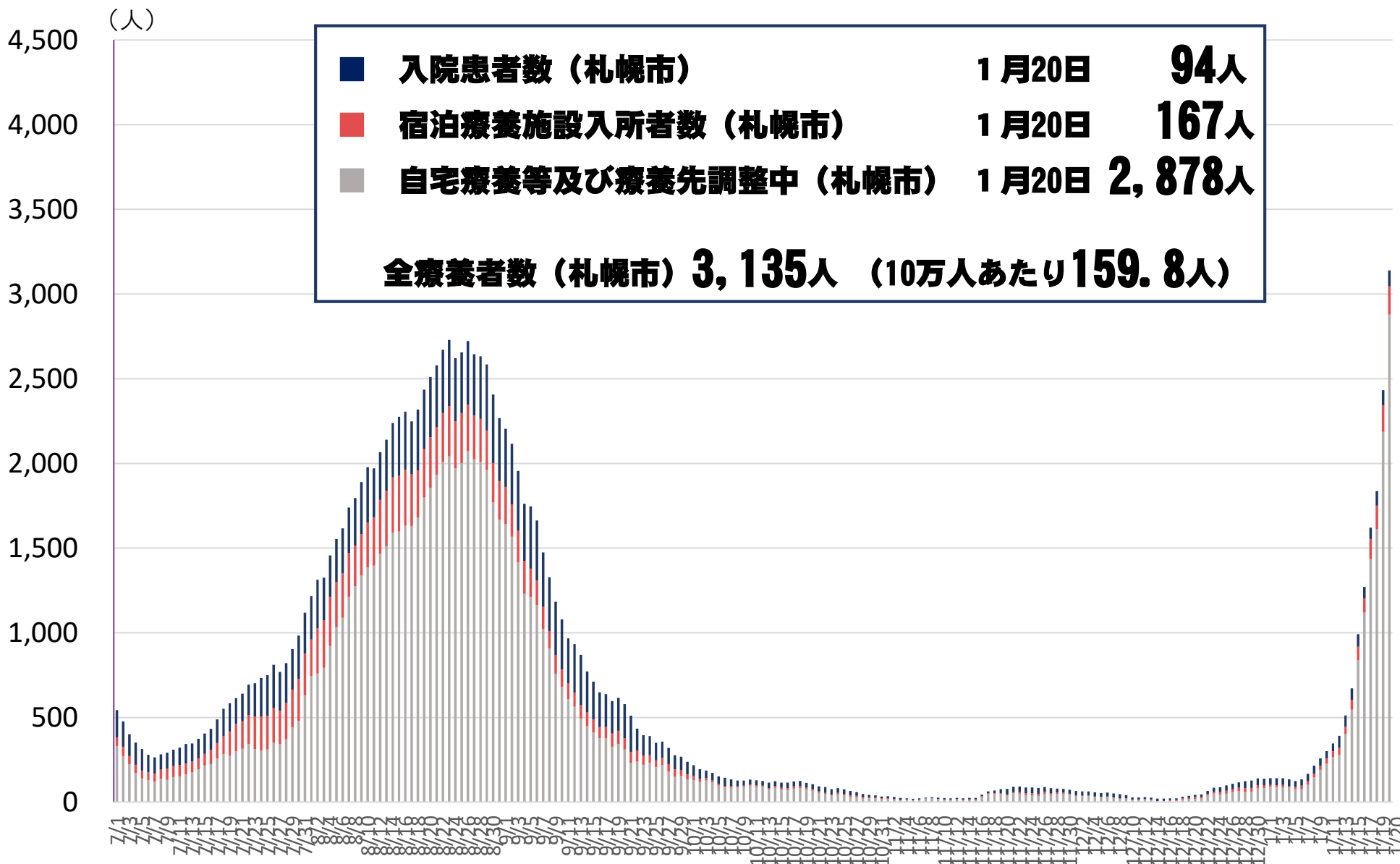
病床使用率



療養者数（全道）

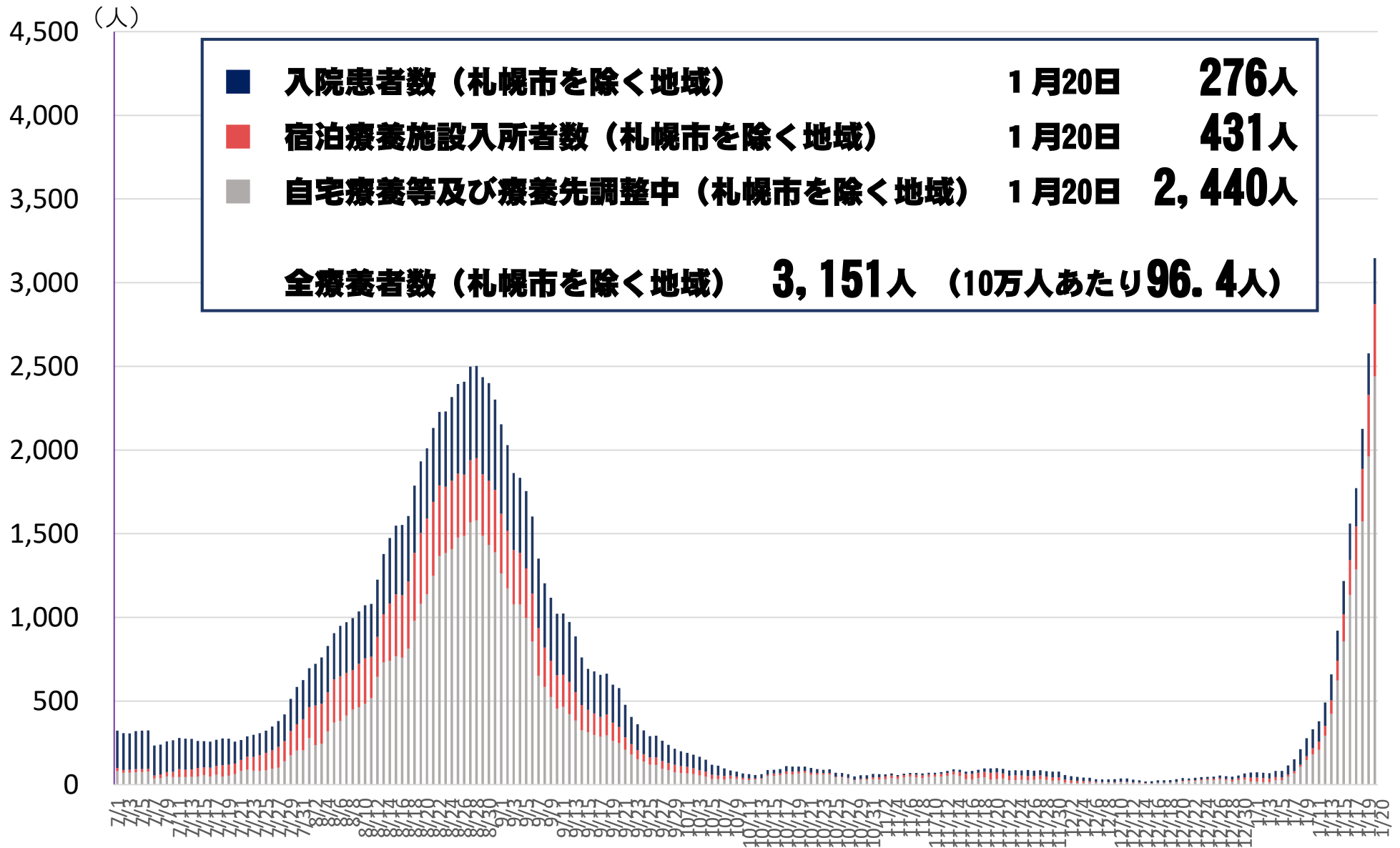


療養者数（札幌市）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

療養者数（札幌市を除く地域）

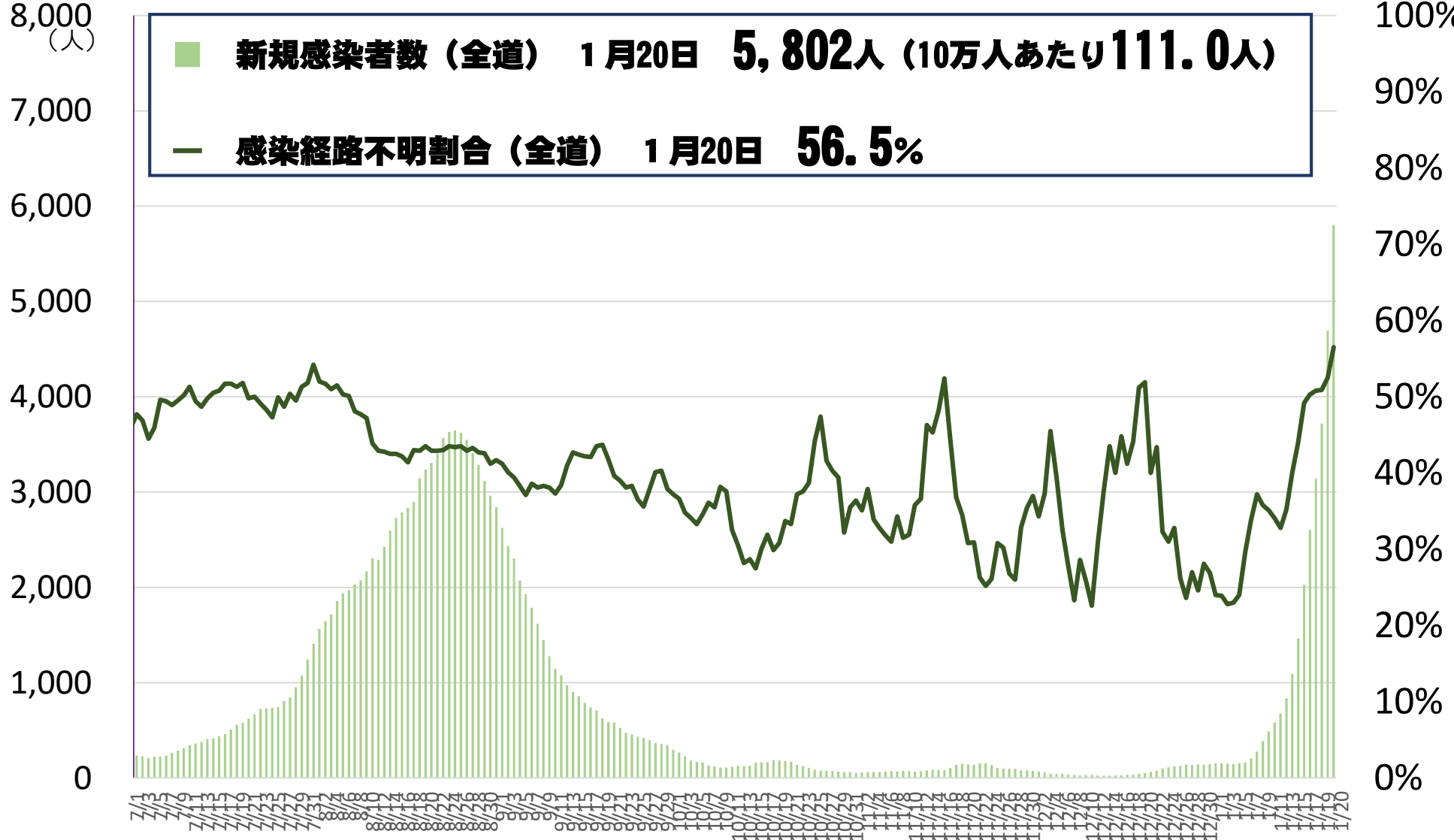


※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

新規感染者数と感染経路不明割合（全道）

新規感染者数
(7日間合計)

感染経路不明割合
(7日間平均)

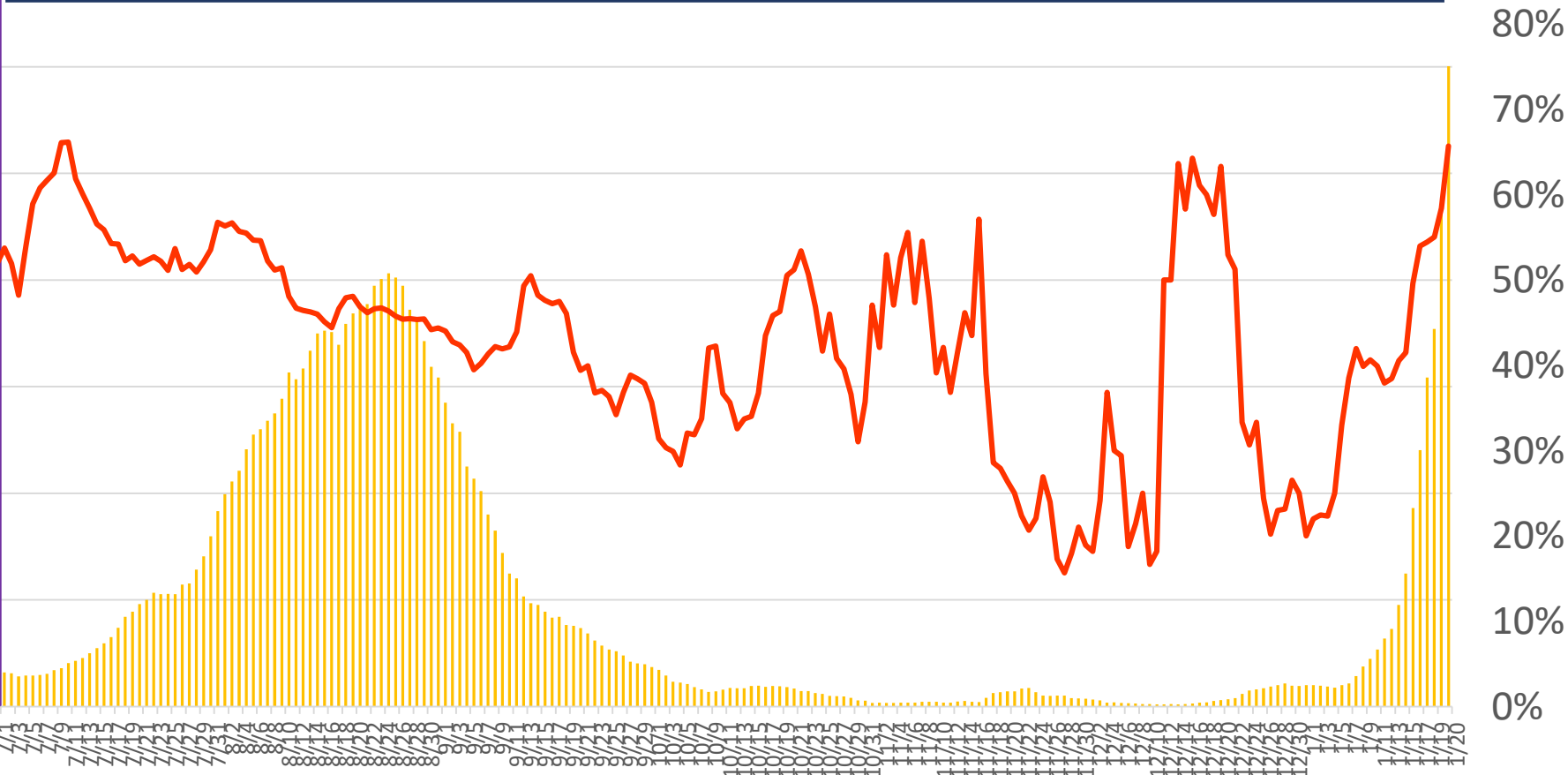


新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市）

新規感染者数
(7日間合計)

感染経路不明割合
(7日間平均)

■	新規感染者数（札幌市）	1月20日 3,002人（10万人あたり153.0人）
—	感染経路不明割合（札幌市）	1月20日 65.7%

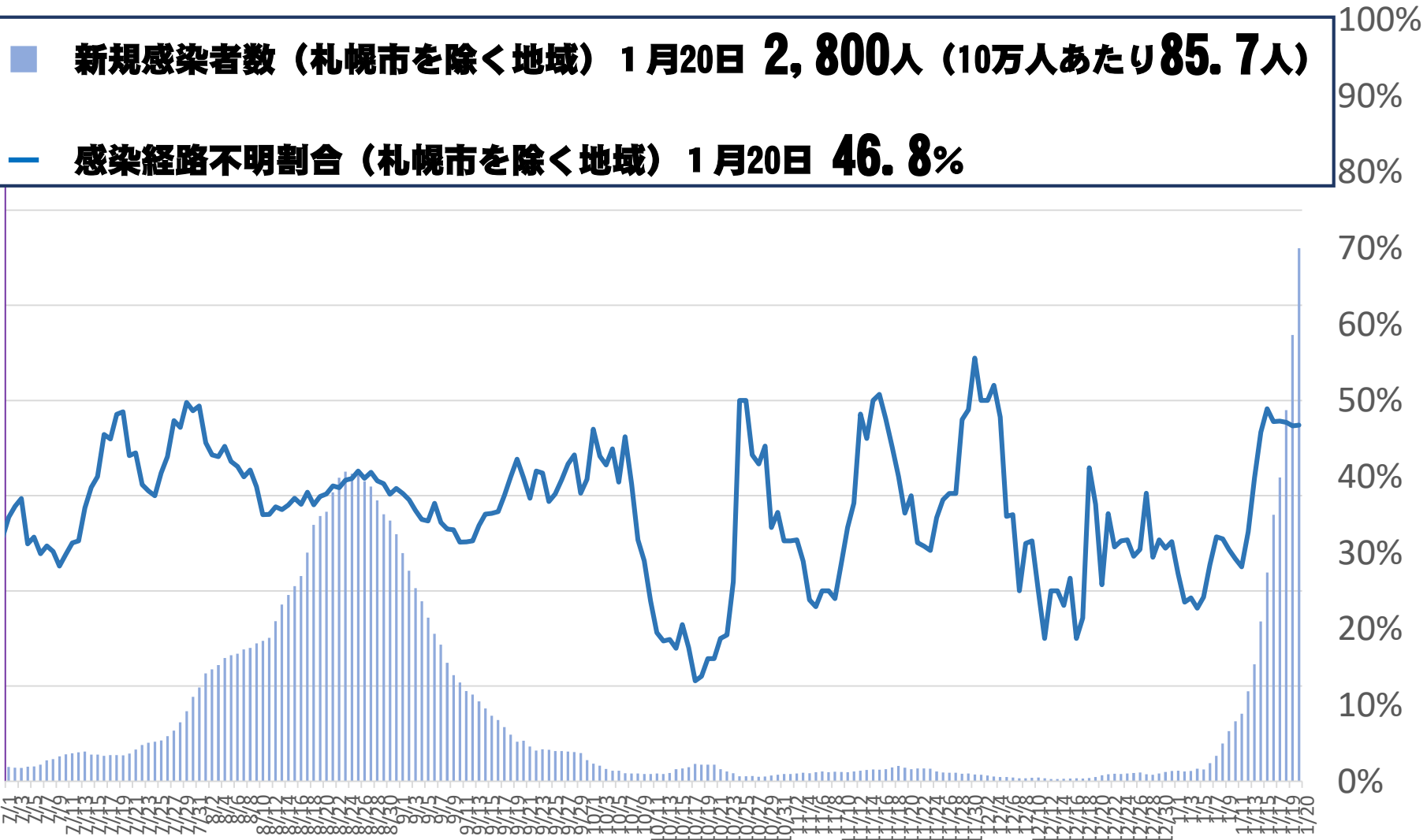


新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市を除く地域）

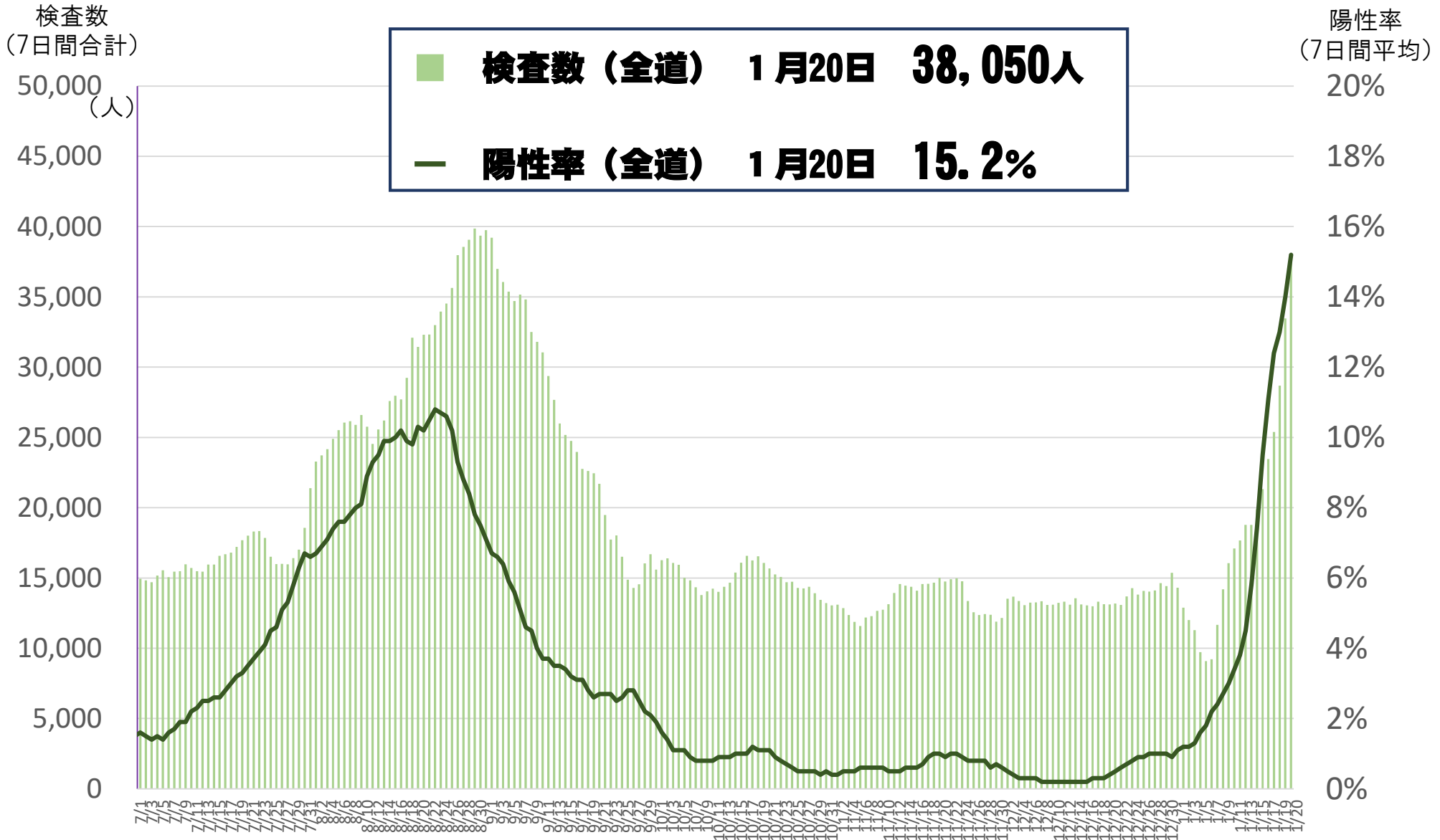
新規感染者数
(7日間合計)

感染経路不明割合
(7日間平均)

■ **新規感染者数（札幌市を除く地域） 1月20日 2,800人（10万人あたり85.7人）**
— **感染経路不明割合（札幌市を除く地域） 1月20日 46.8%**



検査数と陽性率（全道）

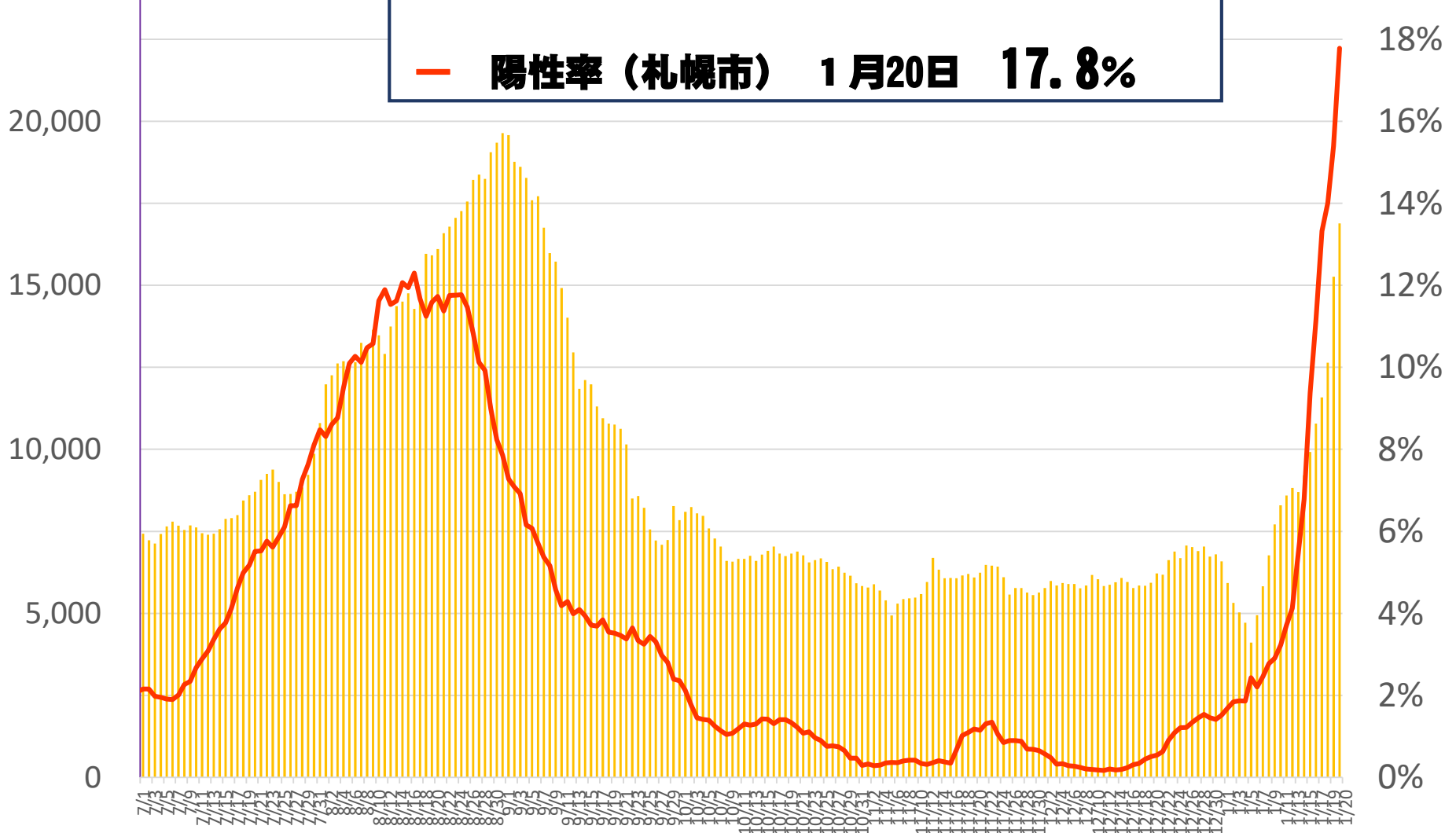


検査数と陽性率（札幌市）

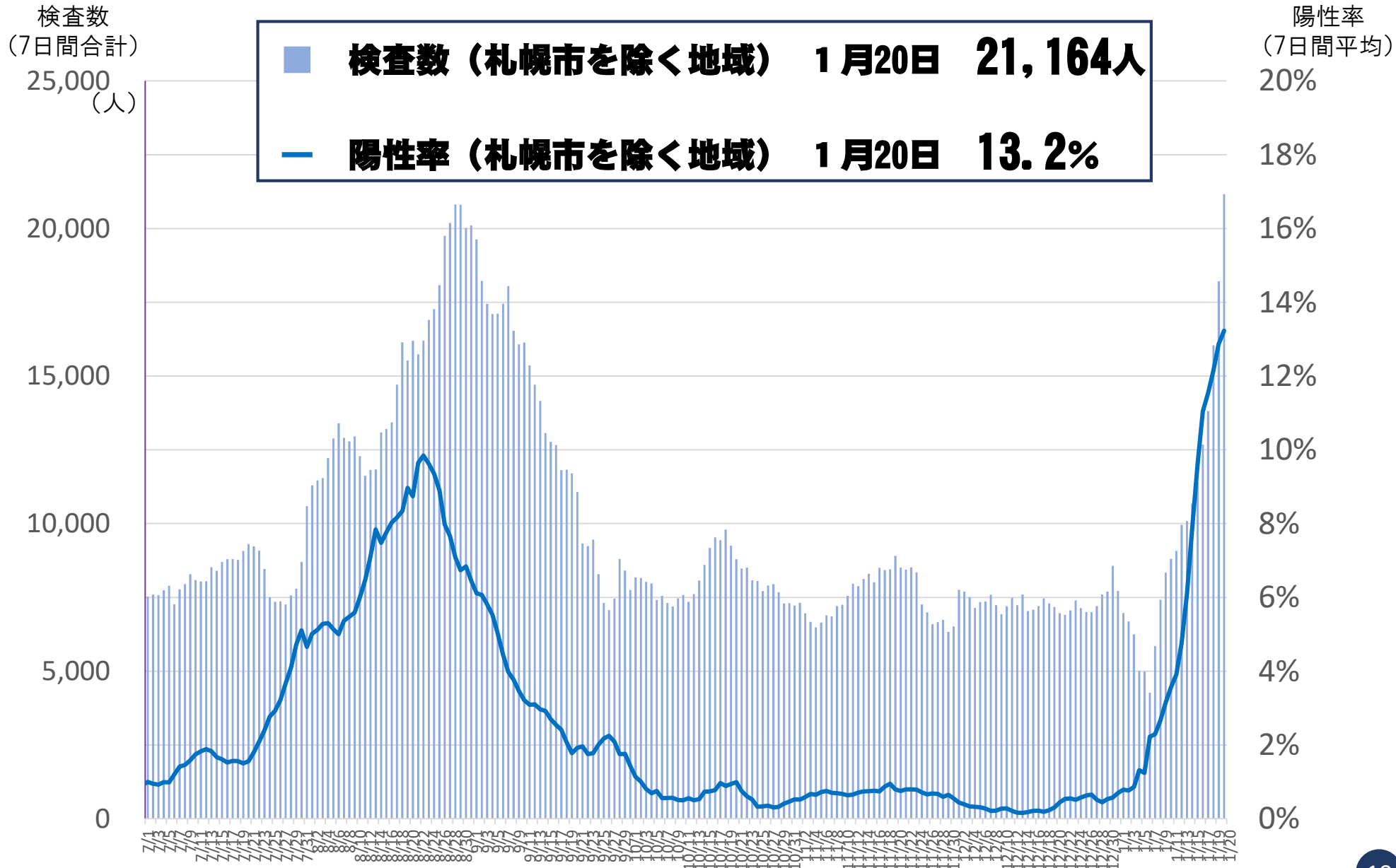
検査数
(7日間合計)
25,000
(人)

陽性率
(7日間平均)

■ 検査数（札幌市） 1月20日 16,886人
— 陽性率（札幌市） 1月20日 17.8%



検査数と陽性率（札幌市を除く地域）



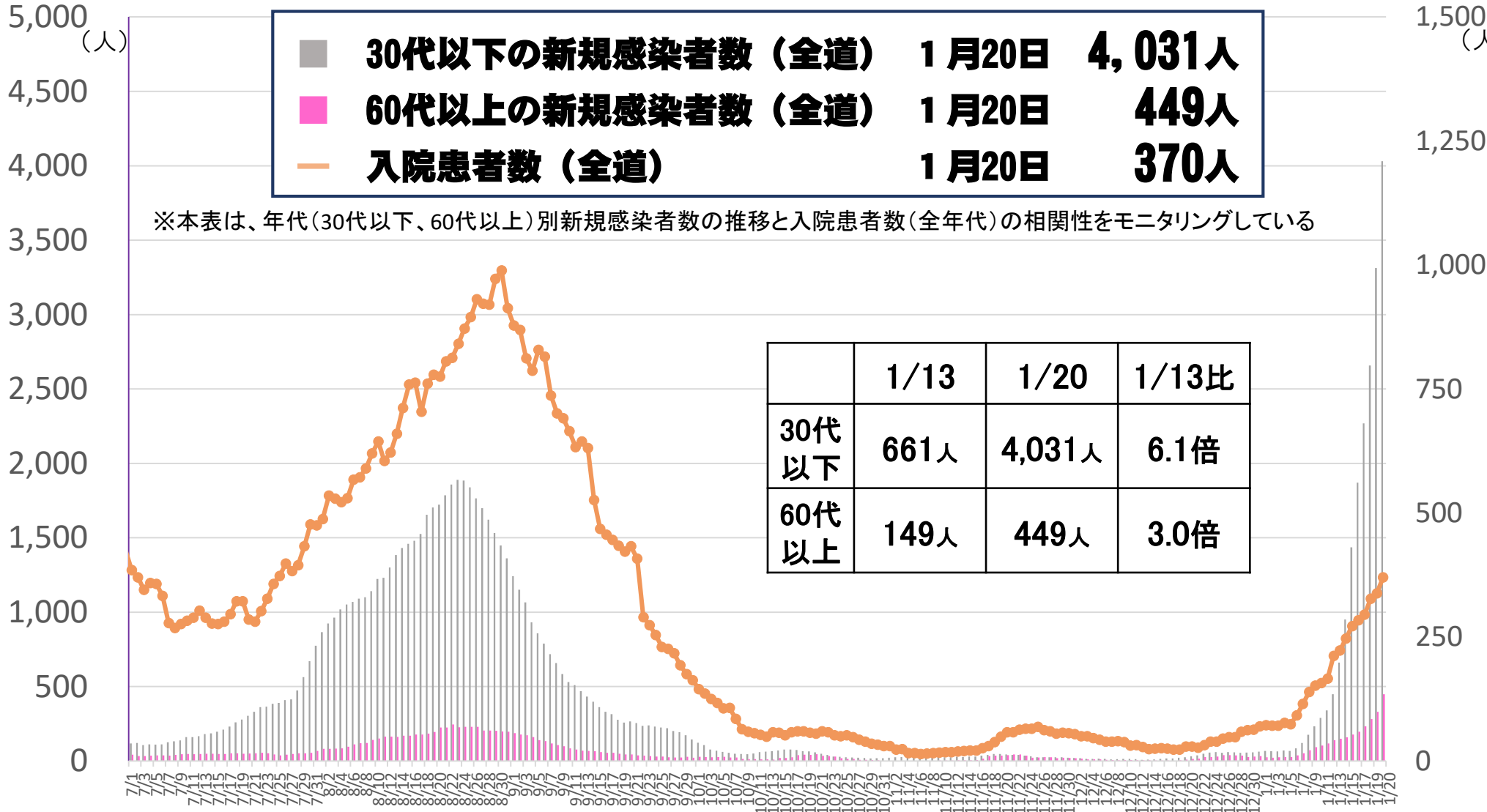
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

入院患者数
(人)

■	30代以下の新規感染者数(全道)	1月20日	4,031人
■	60代以上の新規感染者数(全道)	1月20日	449人
—	入院患者数(全道)	1月20日	370人

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている

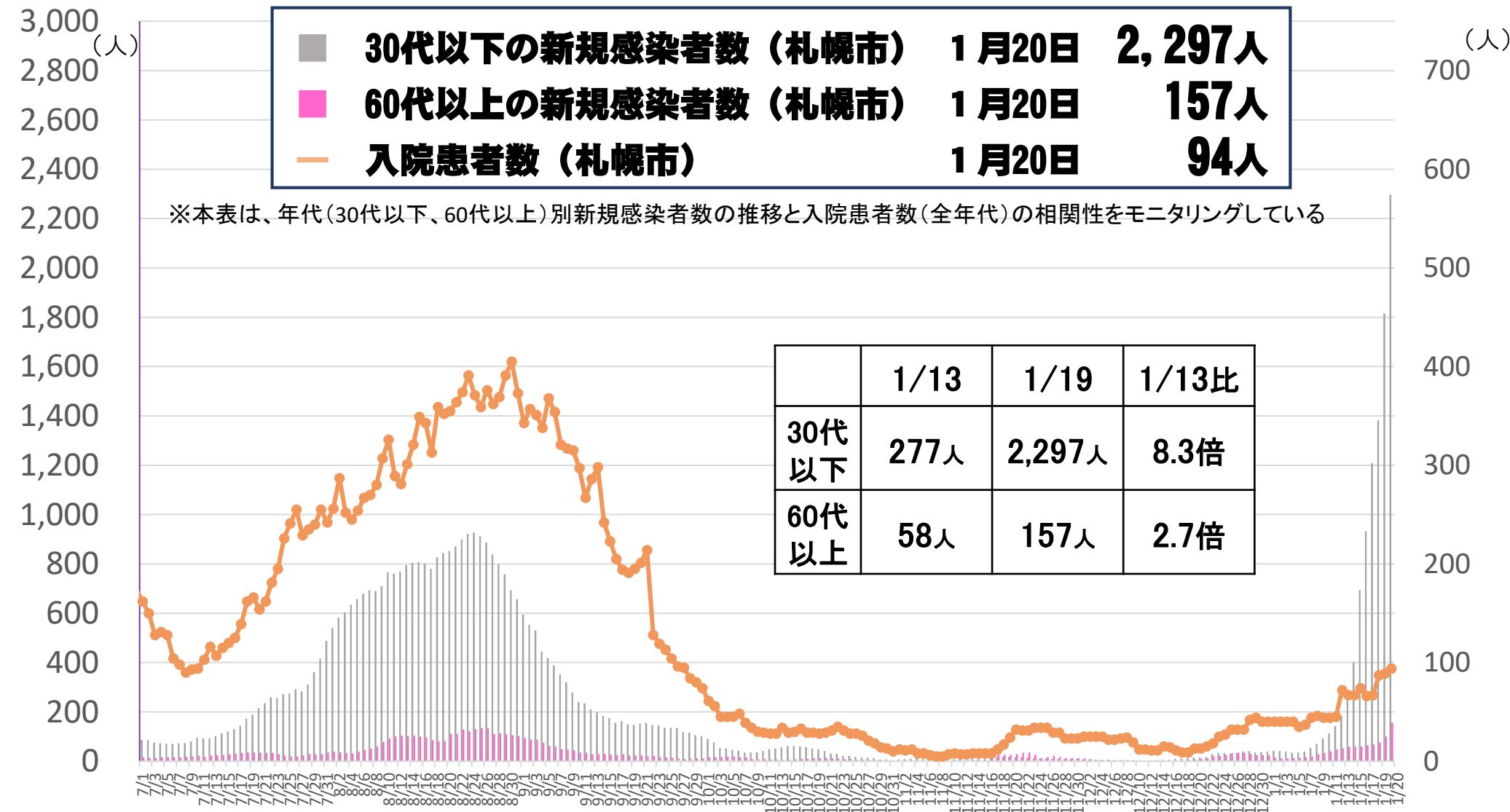


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

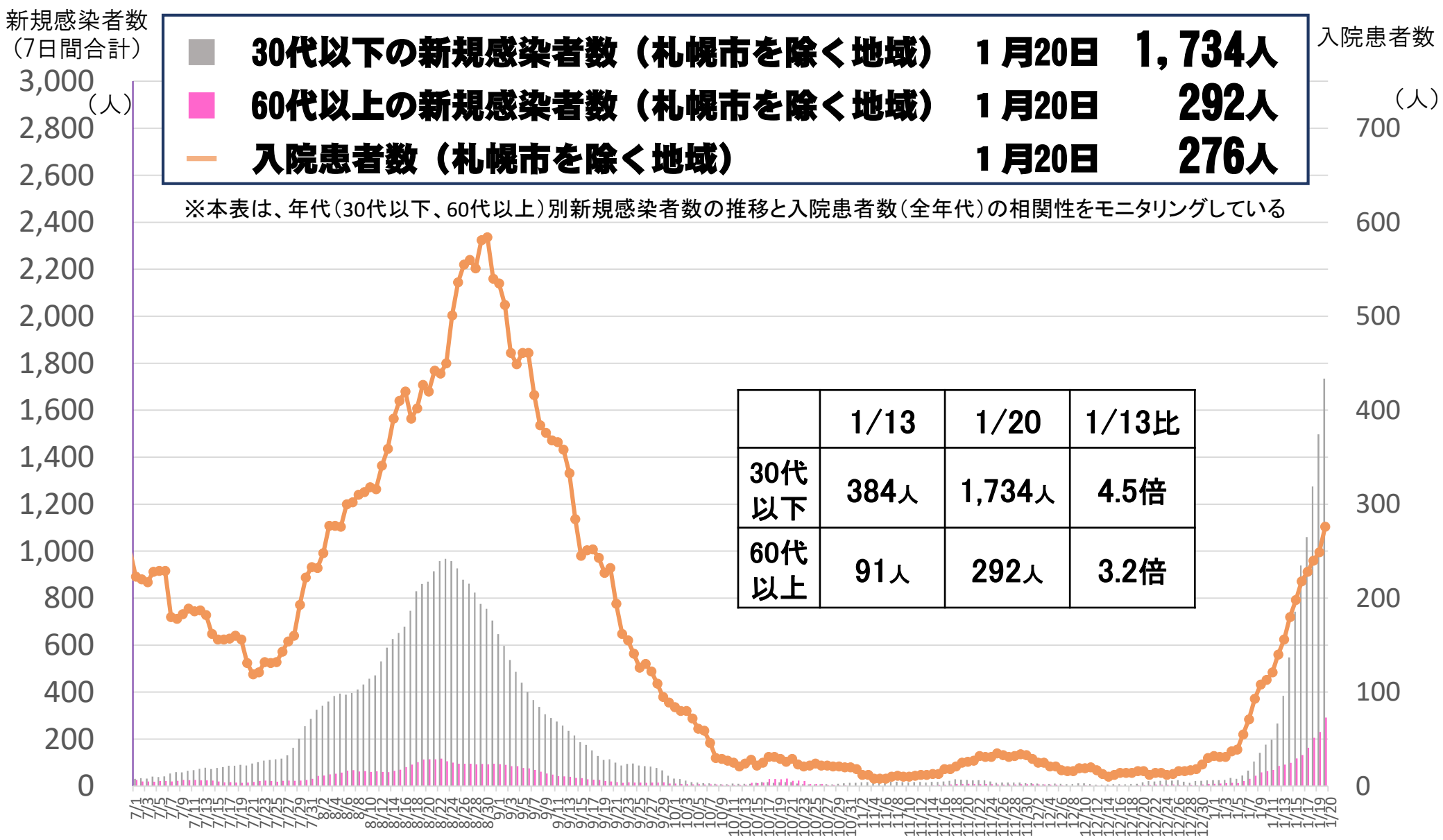
新規感染者数
(7日間合計)

入院患者数



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

集団感染の発生状況(月別)

	11月			12月			1月(1/1~20)		
	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域
医療施設 福祉施設	2件 (81人)	1件 (72人)	1件 (9人)	5件 (120人)	4件 (114人)	1件 (6人)	20件 (325人)	5件 (81人)	15件 (244人)
事業所等	—	—	—	1件 (9人)	—	1件 (9人)	12件 (124人)	—	12件 (124人)
飲食店等	3件 (21人)	—	3件 (21人)	2件 (12人)	—	2件 (12人)	22件 (382人)	—	22件 (382人)
学校	1件 (9人)	—	1件 (9人)	1件 (9人)	—	1件 (9人)	5件 (72人)	1件 (17人)	4件 (55人)
合計	6件 (111人)	1件 (72人)	5件 (39人)	9件 (150人)	4件 (114人)	5件 (36人)	59件 (903人)	6件 (98人)	53件 (805人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

※札幌市では、「飲食店等」における集団感染事例の発生は確認されていないが、感染者の行動履歴として、飲食を伴う場面等が多数確認されている。

集団感染の発生状況(直近3週間)

	12/31~1/6			1/7~13			1/14~20		
	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域
医療施設 福祉施設	1件 (34人)	—	1件 (34人)	5件 (45人)	2件 (16人)	3件 (29人)	14件 (246人)	3件 (65人)	11件 (181人)
事業所等	—	—	—	1件 (11人)	—	1件 (11人)	11件 (113人)	—	11件 (113人)
飲食店等	2件 (11人)	—	2件 (11人)	8件 (107人)	—	8件 (107人)	13件 (269人)	—	13件 (269人)
学校	—	—	—	—	—	—	5件 (72人)	1件 (17人)	4件 (55人)
合計	3件 (45人)	—	3件 (45人)	14件 (163人)	2件 (16人)	12件 (147人)	43件 (700人)	4件 (82人)	39件 (618人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

※札幌市では、「飲食店等」における集団感染事例の発生は確認されていないが、感染者の行動履歴として、飲食を伴う場面等が多数確認されている。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況について(医療従事者等分を含む。1/19現在)

<初回(1・2回目)接種の状況>

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,208,307	80.5%	4,141,165	79.2%
(参考) 全国	101,040,306	79.8%	99,541,505	78.6%

<追加(3回目)接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	75,215	1.4%
(参考) 全国	1,780,539	1.4%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力 of 職域接種分は含まない。また、初回接種における医療従事者等及び追加接種の全国分接種者数は首相官邸HP公表値による)、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

2 追加(3回目)接種等について①

- 2月までに供給されるワクチンについては、各市町村への配分決定済(市町村へ通知済)。また、1月14日に国から、3月・4月分の追加接種に用いるファイザー社製ワクチン(3回目第④・⑤クール)及びモデルナ社製ワクチン(同第③～第⑥クール)の都道府県別の配分量等が示されたことから、早期に市町村別の配分を決定・通知予定。

なお、初回(1・2回)接種の未使用ワクチン(約40万回分)を含めると、4月初旬までに約377万回分が確保され、初回接種者の約9割程度分に相当。

【道内の接種対象者とワクチン供給状況】

(単位:万人(接種対象者数)、万回(ワクチン供給量、接種回数換算))

	追加接種時期	21年12月	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
接種対象者数	医療従事者等	24	5							29
	高齢者	12	15	97	26	2	1	0		153
	その他	2	4	2	63	65	70	23	5	235
	合計	38	24	99	90	67	71	24	5	417
	累計	38	62	161	250	317	388	412	417	417
ワクチン供給量	ファイザー	① 13 ② 53		③ 39	④ 10 ⑤ 28					143
	モデルナ		① 72	② 34 ③ 18	④ 19 ⑤ 22	⑥ 29				194
	合計	66	72	91	79	29				337
	累計	66	138	229	308	337				337

左記以降の配分量等は未定。
この他、初回接種の未使用ワクチン
約40万回分が活用可能。

**未使用ワクチンを含めた
活用可能分→約377万回**

※接種対象者数は、全ての対象者を前倒し接種すると仮定した場合の最大値(1/13国公表値)。赤枠部分は、1/14に国が新たに提示した配分量。

- 道内のワクチン供給の状況からは、4月頃までの接種に対応可能であるが、接種の進捗状況やワクチン配送のタイミング等により、個別の市町村において一時的にワクチンが不足する場合には、道による市町村間のワクチン融通を実施する。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

3 追加(3回目)接種等について②

- 職域追加接種については、昨年12月13日から国において受付開始。道内では1月20日時点で64件の申請があった。
2回目接種完了からの接種間隔が「7か月以上」に短縮され、2月21日の週から接種開始可能とされた。
道としても、引き続き、各種情報提供などを含めた実施企業等の支援に努める。
- 追加(3回目)接種開始後も、新たに接種対象年齢となる方も含め、接種を希望される方については、本年9月30日まで初回接種が引き続き可能。
オミクロン株の感染拡大を踏まえ、岸田総理会見や厚労省のアドバイザリーボードでも、未接種の方へのワクチン接種が勧奨されていることなどから、今後とも、希望される方が円滑に接種を受けられるよう、市町村とも連携し取り組む。
- 5歳以上11歳以下の小児への接種については、今後、所定の手続きを経た上で、3月以降に開始される見込み。
道としては、医師会や小児科医会などの関係団体と体制整備等に係る情報共有をしているほか、各市町村における対応の検討状況等を踏まえ、地域の実情に沿った体制構築に向け、引き続き、市町村の取組を支援する。
また、ワクチン接種に係るメリットや副反応などについて、これまで以上に接種対象者や保護者の皆様にご理解をいただくことが重要であり、市町村とも連携し、わかりやすい周知等に努める。